

平成20年10月15日

島根県邑南町長 石橋良治



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標題について、別紙のとおり回答します。

邑南町などの中山間地域は食料供給や水源のかん養など環境対策においても重要な役割を果たしている。が、人口減少、少子・高齢化に伴い小規模高齢化集落が急増し、通学や通院、買い物等の日常生活、とりわけ消防や救急等の輸送に必要な道路整備が都市部に比べ非常に遅れている。鉄道などの公共交通機関が乏しい邑南町にとって道路は生命線であり、幹線道については早急に整備頂きたい。

道路整備事業に必要な現行の事業評価の便益算定では、地方の持つ便益が考慮されておらず事業採択に限界がある。地方が独自の個性を生かせ、活性化につながる道路事業になるよう、この点を検討頂きたい。

邑南町も町財政健全化のため、公共事業費の削減はもちろん福祉や医療費の助成率引き下げなど、町民と一丸となって取り組んでいます。道路財源の一般財源化に関し、20年度以降も暫定税率による上乗せ分を含め、現行の補助率は是非とも維持して頂きたい

②ー1 地域の現状と抱える課題

島根県邑南町

○現状

平成16年10月に石見町、瑞穂町、羽須美村の3町村で合併誕生した邑南町は、中国山地の中央部の島根県中南部に位置している。町の西南部には中国自動車道瑞穂インターを有し、広島市内や浜田市へは短時間で往来が可能であるほか、三次市等近郊都市部への交通アクセスも良好である。また、中国地方最大の江の川の源流域に位置し、広葉樹林が広がる豊富な森林やゲンジボタルやオオサンショウウオなどの希少種が生息する清流等々、豊かな自然に恵まれた農林業を基幹産業とする美しい町である。

合併により面積は419.2km²と広大となった。そのほとんどは標高100～600mであり、盆地と山地が組み合わされた優れた景観である。この広大な合併に際し、子供から高齢者まで誰もが住み慣れた家庭や地域において、健康で安心して暮らしていけるよう、地域全体で支え合う体制の充実を図り様々な困難に地域が団結する「夢響きあう元気な郷」づくりに努力している。

○課題

過疎化が進んでいることから、人口は13,455人(世帯数5,251)である。高齢化率は全国有数の島根県内でも37.4%と上位で、老人世帯や独居老人も多く核家族化も進行し、子育てや介護等の課題に家庭内だけで対応することが困難になりつつあり、地域で支える仕組みや行政の支援体制の充実が望まれている。また、14才以下の人口は過去10年間で3割減少し、将来の生産年齢となる年少人口の減少している。過疎化・高齢化の進行により集落機能が低下し、存続困難な限界集落問題が顕在化している、このことは今後地域のあり方の根幹に関わる大きな課題となると考えます。

町の基幹産業である農業については、後継者不足や高齢化等により、産出額がこの10年間で3割程度減少している。特に、1農家当たりの農業就業人口は1.3人で、多くの農家が1人で耕作している状況であり、後継者対策や集落営農体制の確立が重要な課題となっている。こうした生産年齢人口の減少は、産業振興の低下はもとより、農業生産における耕作放棄地の増加や林業生産における森林の荒廃など、自然景観を著しく損なっている。また、米価低迷、後継者不在、鳥獣害の頻発、地域内離農者の増加など厳しい状況にある

②-2 地域の目指すべき将来像

島根県邑南町

(1) 地域をつなぐ利便性の高い町

各地域を結ぶ基幹道路網の整備、生活路線としての公共交通機関、21世紀の情報化時代に対応する高度情報ネットワークなど町民を支えるさまざまな機能を高め、地域内を結ぶ基盤整備を進める。

(2) 地域資源を活かした元気な産業の町

高齢化・後継者対策の推進、特産品のブランド化、環境保全型農業の推進など新しい時代に対応した農業の再構築と振興を図るとともに、豊かな自然と地域産業を活かした体験型観光・レクリエーションの開発など、陰陽の接点としての特性を十分に活かした交流による産業の総合的な活性化を推進し、元気で活力のあるまちづくりを進める。

(3) 自然と共生の環境にやさしい町

森林資源保護などによる水源確保やハンザケ(オオサンショウウオ)やほたるの生息するきれいな水の保全など豊かで美しい自然環境を次代に伝え、消防・防災等の体制の充実や住宅整備により、安全で安心できる生活環境づくりを目指す。

(4) こころ響きあい健やかに暮らす町

保健・医療・福祉の総合的な連携を軸にした地域ケアネットワークを構築するとともに、町に暮らす町民の一人ひとりが地域社会活動に参加し、やさしさや温もりに満ちあふれ、いきいきと幸せに暮らすことのできる環境づくりを推進する。

(5) いきいきと心豊かに学ぶ町

一人ひとりの人権が尊重され、男女が共に参画する社会づくり、生きる力を育てることを重視した教育環境、郷土を愛する心を育てる地域教育の充実、先人が守り育てた歴史や遺産である地域文化の保存・伝承・創造活動を推進する。

(6) 夢語る新コミュニティの町

町民の地域活動への支援と行政との結び目づくりを積極的に進め、協働による希望に満ちた新コミュニティづくりを進める。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

島根県邑南町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	近隣都市部(浜田市)を起点とし、邑南町を東西に貫く、主要地方道浜田作木線等の幹線道路の整備。	邑南町は平成16年10月、3町村(石見町、瑞穂町、羽須美村)の合併で誕生し、役場庁舎等町の主要施設のほとんどが旧石見町に存する。旧羽須美村中心部より40分を要し、隣接都市部以上の時間を要することから、町内幹線道の整備は合併協議時代からの懸案でした。新町が掲げる「和のまちづくり」の主要事業のひとつである。 邑南町隣接都市には、石見銀山やアクアス、天然温泉などの観光資源が豊富にあり、邑南町のスキー場やゴルフ場、観光農園、癒しの空間としての景勝地や民泊など町の特色ある観光施設と連携した広域観光ネットワークにより、新たな地場産業の振興に期待を寄せている。 近隣都市に大規模事業所が創設され、これによる定住促進、経済効果等。	